

令和元年度 特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターふじ寿か園 PDCAシート  
 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

地域に必要な生活支援について連合自治会がアンケートを実施。結果としてボランティアセンターは必要だと思う人が多かった。地域に必要な社会資源として、ボランティアセンターの立ち上げに連合自治会が中心となって動いている。また地域も高齢化しており、老後に関して不安を解消していくために、エンディングノートを切っ掛けとして講座を開催していく。地域特性として、福祉施設が多く、グループホームが中心となって、認知症の周知活動を行っている。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	山下安全・安心まちづくり委員会、生活支援推進委員会に参加し、地域が課題としているささえあいバス、ボランティアセンターについて地区支援チームと共に後方支援をし、インフォーマルサービスの開発につなげる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・エンディングノートの講座を通して、中山ケアプラザと共催し3回コースの講座を実施。 ・地区内のサロンや老人会に向けて出前講座を実施
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	グループホームと協働事業として小中学校で認知症サポーター養成講座を実施。一般向けにはサロンで実施。山下ふれあいまつりの継続実施を支援し、認知症についての周知活動を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	事例を用いて、ICF(国際生活機能分類)の視点を学び、他の事例に役立てる。インフォーマルサポートの周知。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

振り返りの記入欄

区からのコメント

区からのコメントの記入欄

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市、区や関係団体の連絡会等での研修に参加し、各職種に必要なスキルを学ぶ。</li> <li>・公正、中立性の確保について、利用者へホームページ等を使用し情報提供を行い、本人が主体となって選択できるように動く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時対応マニュアルとしてファイルを作成。利用者の急変時や事故への対応、災害時の対応、苦情対応や個人情報に関するマニュアルを作成し、ファイルとして確認できるようにしている。</li> <li>・法人が行う個人情報や人権などの職員研修に参加し、伝達する。また、行政や市社協が行っている研修へ必要に応じて参加する。</li> </ul>
実績		

